特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

Hokkaido Research Center of Geology

2017 年度年報

（2017 年 10 月 1 日～2018 年 9 月 30 日）

目　次

Ⅰ．北海道総合地質学研究センターについて ……1
Ⅱ．活動および事業 ……2
Ⅲ．会員による研究活動 ……7
Ⅳ．会計決算 ……13
Ⅴ．無償役務など，寄付金および賛助会費受入れなど ……16
Ⅵ．後援，助成金受入れなど ……17

2019 年（令和元年）5 月 20 日発行

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター

I. 北海道総合地質学研究センターについて

1. 目的

本法人は，地質学に関する研究・教育・実務などの高度な創造的活動を行なおうとする者のために必要な環境を用意し，その支援を行うとともに成果の普及活動を行い，それによって純粋地質学から自然防災を含む応用的地質学など幅広い範囲におよぶ「総合地質学」の研究の推進，およびそれに基づく社会的貢献，特に一般市民の地質学に関する基礎知識の増進に貢献することを目的とする．

2. 役員 （2018 年 9 月 30 日現在）

理事長：前田 仁一郎

副理事長：嵯峨山 積

理事：石﨑 俊一，岡 孝雄，君波 和雄，嵯峨山 積，関根 達夫，中川 充，前田 仁一郎，松田 義章，宮下 純夫，山岸 宏光

監事：在田 一則，宮坂 省吾

3. 会員数 （2018 年 9 月 30 日現在）

24 名．内訳：正会員 18 名，一般会員 4 名，院生・学生会員 1 名，賛助会員 1 名

4. 所在地・電子メール・ホームページ

〒063-0002 北海道札幌市西区山の手 2 条 3 丁目 5 番 24 号

電話 080-5830-2016

office@hrcg.jp

http://www.hrcg.jp/

5. 定款・設立趣旨書などの文書

定款：http://hrcg.jp/documents/Teikan_20171001.pdf

設立趣旨書：http://hrcg.jp/documents/Shushi.pdf

プライバシーポリシー：http://hrcg.jp/documents/privacy_161116.pdf

会員の行動と知的所有権に関する基本的な考え方：http://hrcg.jp/documents/Chiteki_161116.pdf

II. 活動および事業

2017（平成 29）年

10 月 1 日　2017 年通常総会. 札幌市北区北海道クリスチャンセンター 201 室, 14:00-15:20. 出席者: 在田一則, 加藤孝幸, 前田仁一郎, 松田義章, 中川 充, 岡 孝雄, 嵯峨山 積, 関根達夫, 山岸宏光. 電子メールによる議決権行使者: 石﨑俊一, 宮坂省吾. 委任状提出者: 君波和雄, 宮下純夫. 議長: 中川充, 議事録署名人: 岡 孝雄, 関根達夫. 総会に引き続いて行われた第 6 回研究セミナー終了後に懇親会を開催.

10 月 1 日　第 6 回研究セミナー. 松田義章: 地学教育の課題とその改善. 札幌市北区北海道クリスチャンセンター 201 室, 15:30-17:00. 参加者 9 名.

10 月 9 日　幹事会. 札幌市豊平区内の岡 孝雄研究室において開催.

10 月 11 日　札幌西税務署に給与支払事務所開設届出書を提出.

10 月 13〜14 日　第 1 回公開講座（北海道教育委員会主催道民カレッジ連携講座指定). 宮坂省吾: 札幌の失われた川を歩く. 13 日: 座学, 13:00-17:00, 札幌市中央区かでる 2.7 北海道立道民活動センター750 室, 受講者 16 名. 14 日: 北海道大学正門から北海道大学植物園周辺を歩き, 札幌の失われた川の痕跡を観察, 13:00-15:00, 受講者 12 名.

11 月 9 日　札幌市中央市税務所に平成 28 年 10 月から平成 29 年 9 月分の事業報告書と活動計算書を提出.

11 月 10 日　幹事会. 札幌市北区北海道大学クラーク会館において開催.

11 月 17 日　札幌市役所に 2016 年度事業報告および定款改正の書類を提出.

11 月 24 日　幹事会. 札幌市北区北海道大学クラーク会館において開催.

12 月 13 日　国立国会図書館（ISSN 日本センター）からオンライン・ジャーナル総合地質の ISSN 登録を取得（正式承認は 2018/3/19 付).

12 月 15 日　総合地質 1 巻 1 号を発行し, ホームページ上で公開開始.

12 月 16 日　札幌市から平成 29 年度法人市民税均等割減免（50,000 円全額）の承認を得る.

2018（平成 30）年

1 月 12 日　幹事会. 札幌市北区エルプラザ, 15:30 - 17:30.

1 月 18 日　札幌市に平成 30 年度償却資産申告書（償却資産課税台帳）を提出.

1 月 18 日　札幌西税務署に平成 29 年度給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表を提出.

1 月 19 日　中川町担当者と正副理事長が中川町開催の「平成 30 年度中川町自然誌講演会」について打ち合わせ. 札幌市北区エルプラザ, 13:00 - 14:00.

1 月 22 日　国立研究開発法人 産業技術総合研究所 地質調査総合センターより依頼のあった（2018/1/19 付)「総合地質」の書誌情報の「地質文献データベース」への収録と紙プリントの図書室配架の依頼を承諾.

1 月 30 日　日本地質学会 News に “オンラインジャーナル「総合地質」のご案内” を投稿（21 巻 2 号に

掲載).

2 月 3 日　全体会議（全会員に参加を呼びかけた会議). 札幌市中央区かでる 2.7 北海道立道民活動センター 920 室, 13:00 - 14:00. 全体会議に引き続いて行われた第 7 回研究セミナー終了後に懇親会を開催.

2 月 3 日　第 7 回研究セミナー. 山岸宏光: 水中火山のはなし -NHK ブラタモリ室蘭に関連して-. 札幌市中央区かでる 2.7 北海道立道民活動センター 920 室, 14:30 - 15:45. 参加者 57 名（会員外 45 名を含む).

2 月 6 日　一般社団法人北海道地質調査業協会を正副理事長と山岸宏光が訪問し, 北海道総合地質学研究センターの設立趣旨や予定している事業活動などを紹介し, 協力を要請.

2 月 9 日　幹事会. 札幌市北区エルプラザ, 15:00 - 17:00.

2 月 21 日　地学団体研究会の「そくほう」に “オンラインジャーナル「総合地質」投稿のおさそい” を投稿.

2 月 26 日　「NPO 法人会計力強化セミナー」（札幌市主催）に正副理事長が参加.

3 月 3 日　第 8 回研究セミナー. 関根達夫: 幻の湖「古藤野湖」. 札幌市中央区かでる 2・7 北海道立道民活動センター 620 室, 13:00-15:15. 参加者 14 名（会員外 4 名を含む). セミナー終了後に参加者による free-talk meeting を開催.

3 月 30 日　理事会（電子メールによる表決期間: 3/19-29, 議事録確定 3/30).

4 月 13 日　北海道札幌道税事務所に平成 30 年度法人道民税の均等割り申告書ならびに法人道民税減免申請書を提出.

4 月 13 日　札幌市に平成 30 年度法人市民税の均等割り申告書を提出.

4 月 26 日　札幌市厚別区において発行されているタウン情報新聞「週間まんまる新聞」に第 2 回公開講座の案内が掲載.

4 月 27 日～6 月 17 日　「地質の日」記念展「北海道のジオサイトに見る岩石」（地質の日記念展実行委員会と北海道大学総合博物館が主催）の開催に協力.

5 月 1 日　2016 年度年報を発行し, 5 月 5 日からホームページ上で公開.

5 月 11 日　理事会（電子メールによる表決期間: 5/7-5/9, 議事録確定 5/11).

5 月 11 日　幹事会. 札幌市北区エルプラザ, 15:30 - 17:00.

5 月 19 日　第 2 回公開講座, 地形・地質から北海道の自然災害を考える, その 1 なぜ日本列島には自然災害が多いか（北海道教育委員会道民カレッジ連携講座指定, 後援：一般社団法人北海道地質調査業協会). 講師: 山岸宏光. 札幌市中央区かでる 2・7 北海道立道民活動センター 550 室, 13:30 - 15:30. 受講者 33 名

6 月 6 日　高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会打ち合わせ（札幌市において. 日本応用地質学会北海道支部アウトリーチ担当からの協力要請による. 出席: 前田仁一郎).

6 月 16 日　第 2 回公開講座, 地形・地質から北海道の自然災害を考える, その 2 地震火山列島日本（北海

道教育委員会道民カレッジ連携講座指定, 後援: 一般社団法人北海道地質調査業協会). 講師: 山岸宏光. 札幌市中央区かでる 2・7 北海道立道民活動センター 550 室, 13:30 - 15:30. 受講者 21 名.

6 月 20 日　高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会打ち合わせ（苫小牧市において, 出席: 前田仁一郎, 松田義章).

6 月 22 日　幹事会. 札幌市北区エルプラザ, 15:30 - 17:00.

6 月 23 日　市民活動団体・NPO 法人のための税務・会計相談（平成 30 年度札幌市市民活動サポートセンター主催）に正副理事長が出席.

6 月 27 日　高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会打ち合わせ（苫小牧市において, 出席: 松田義章).

7 月 14 日　第 2 回公開講座, 地形・地質から北海道の自然災害を考える, その 3 土砂災害（地すべり・崩壊・土石流）と河川氾濫（北海道教育委員会主催道民カレッジ連携講座指定, 後援: 一般社団法人北海道地質調査業協会). 講師: 山岸宏光. 札幌市中央区かでる 2･7 北海道立道民活動センター 550 室, 13:30 - 15:30. 受講者 22 名.

7 月 15 日　北海道新聞に第 2 回公開講座 その 3 土砂災害（地すべり・崩壊・土石流）と河川氾濫の記事が掲載.

7 月 17 日　高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会打ち合わせ（苫小牧市において, 出席: 松田義章).

7 月 21 日　第 9 回研究セミナー. 川村信人: “岩清水古陸” –エゾ海盆中の前弧リッジ. 前原恒祐: 寒冷地露岩斜面の岩盤内部温度の季節変動と初夏に発生する岩盤崩壊のメカニズムに関する考察. 札幌市中央区かでる 2･7 北海道立道民活動センター 740 室, 13:00 - 16:00. 参加者 13 名（会員外 3 名を含む).

7 月 24 日　北海道胆振振興局室蘭建設管理部苫小牧出張所安全協議会が主催する高速道苫小牧中央インター工事現場における地元小学生対象の地層（火山灰層）見学会を後援（苫小牧市において). 説明者: 松田義章.

8 月 15 日　札幌市から平成 30 年度法人市民税均等割りの減免承認 (50,000 円全額).

8 月 18 日　第 2 回公開講座, 地形・地質から北海道の自然災害を考える, その 4 北海道の災害は本州とどう違うか (北海道教育委員会主催道民カレッジ連携講座指定, 後援: 一般社団法人北海道地質調査業協会, 札幌市, 札幌市教育委員会). 講師: 山岸宏光. 札幌市中央区かでる 2･7 北海道立道民活動センター 1010 室, 13:30 - 15:30. 受講者 37 名.

9 月 7 日　日本地質学会夜間小集会「人生 100 年時代のシニア地質屋の集い」が平成 30 年胆振東部地震により中止.

9 月 14 日　朝日新聞夕刊に第 2 回公開講座 その 5 防災情報とはどんなもの？ の記事が掲載.

9 月 15 日　第 2 回公開講座, 地形･地質から北海道の自然災害を考える, その 5 防災情報とはどんなもの？ (北海道教育委員会主催道民カレッジ連携講座指定, 後援: 一般社団法人北海道地質調査業協会, 札幌市, 札幌市教育委員会). 講師: 山岸宏光. 札幌市中央区かでる 2・7 北海道立道民活動センター 550

室, 13:30 - 15:30. 受講者 26 名.

9 月 29 日　第 2 回公開講座, 地形・地質から北海道の自然災害を考える, その 6 地すべり地形見学 (北海道教育委員会主催道民カレッジ連携講座指定, 後援: 一般社団法人北海道地質調査業協会, 札幌市, 札幌市教育委員会). 講師: 宮坂省吾. 札幌市手稲区内, 13:00 - 16:00. 受講者 23 名.

10 月 1 日　会計監査. 北海道大学総合博物館において実施 (正副理事長および監事: 在田一則, 宮坂省吾).

10 月 13 日　理事会 (電子メールによる表決期間: 10/2 - 9, 議事録確定 10/13).

10 月 13 日　2018 年通常総会ならびに懇親会を開催.

総合地質

1 巻, 1 号, 2017 年 12 月 15 日発行

嵯峨山　積, 北海道東部湧洞沼北東方のチョウブシ層の地質年代. 1–6.

前田仁一郎・米山　悟・中田周平・松田岳洋・山下康平, 日高火成活動帯北部の高 Fe/Mg 迸入岩類の K–Ar 全岩年代. 7–14.

君波和雄, 沈み込むスラブの垂直切断. 15–34.

宮坂省吾, 札幌の失われた川を尋ねて-「水の都」札幌-. 35–45.

岡　孝雄, サハリン島スミルヌイフ（気屯）西方丘陵の上部新生界. 46–70.

北海道総合地質学研究センター 公開講座

北海道総合地質学研究センター第 1 回公開講座「札幌の失われた川を歩く」, 2017 年 10 月 13 日, 2017 年 10 月 14 日, 宮坂省吾.

北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」, その 1 なぜ日本列島には自然災害が多いか: 2018 年 5 月 19 日, 山岸宏光, その 2 地震火山列島日本: 2018 年 6 月 6 日, 山岸宏光, その 3 土砂災害（地すべり・崩壊・土石流）と河川氾濫: 2018 年 7 月 14 日, 山岸宏光, その 4 北海道の災害は本州とどう違うか: 2018 年 8 月 18 日, 山岸宏光, その 5 防災情報とはどんなもの？: 2018 年 9 月 15 日, 山岸宏光, その 6 地すべり地形見学: 2018 年 9 月 29 日, 宮坂省吾.

北海道総合地質学研究センター 研究セミナー

第 6 回研究セミナー, 松田義章, 地学教育の課題とその改善. 2017 年 10 月 1 日.

第 7 回研究セミナー, 山岸宏光, 水中火山のはなしーNHK ブラタモリ室蘭 (2017 年 11 月 25 日放映) に関連してー. 2018 月 2 月 3 日.

第 8 回研究セミナー, 関根達夫, 幻の湖「古藤野湖」. 2018 年 3 月 3 日.

第 9 回研究セミナー, 川村信人, “岩清水古陸”–エゾ海盆中の前弧リッジ, 前原 恒祐・磯貝 晃一・伊藤 和伯・山田 岳史, 寒冷地露岩斜面の岩盤内部温度の季節変動と初夏に発生する岩盤崩壊のメカニズムに関する考察. 2018 年 7 月 21 日.

Ⅲ．会員による研究活動

1)　学術論文など（査読有）

Azuma, R., Hino, R., Ohta, Y., Ito, Y., Mochizuki, K., Uehira, K., Murai, Y., Sato, T., Takanami, T., Shinohara, M. and Kanazawa, T., 2018, Along-Arc Heterogeneity of the Seismic Structure Around a Large Coseismic Shallow Slip Area of the 2011 Tohoku- Oki Earthquake: 2-D Vp Structural Estimation Through an Air Gun-Ocean Bottom Seismometer Experiment in the Japan Trench Subduction Zone. Journal of Geophysical Research, Solid Earth, 5249–5264, 123(B4), DOI: 10.1029/2017JB015361.

Braun, A., Urquia, E.L.G., Lopez, R.M. and Yamagishi, H., 2018, Landslide Susceptibility Mapping in Tegucigalpa, Honduras, Using Data Mining Methods. Shakoor, A. and Cato, K. (eds.), IAEG/AEG Annual Meeting Proceedings, San Francisco, California, 2018-vol. 1, https://doi.org/10.1007/978-3-319-93124-1_25

Dou. J., Yamagishi, H., Zhu, Z., Yunus, A.P. and Chen, C.W., 2018, A Comparative Study of the Binary Logistic Regression (BLR) and Artificial Neural Network (ANN) Models for GIS-Based Spatial Predicting Landslides at a Regional Scale, 139−151.

Hirai, Y., Yoshida, T., Okamura, S., Tamura, Y., Sakamoto, I. and Shinjo, R., 2018, Breakdown of residual zircon in the Izu arc subducting slab during back-arc rifting. Geology, 46, 271−274.

Imayama, T., Arita, K., Fukuyama, M., Yi, K. and Kawabata, R., 2018, 1.74 Ga crustal melting after rifting at the northern Indian margin: investigation of mylonitic orthogneisses in the Kathmandu area, central Nepal. International Geology Review, DOI:10.1080/00206814.2018. 1504329 (https://doi.org/10.1080/00206814.2018.1504329).

君波和雄，沈み込むスラブの垂直切断．総合地質，1，15−34.

前田仁一郎・米山　悟・中田周平・松田岳洋・山下康平，日高火成活動帯北部の高 Fe/Mg 迸入岩類の K–Ar 全岩年代．総合地質，1，7−14.

宮坂省吾，札幌の失われた川を尋ねて-「水の都」札幌-．総合地質，1，35−45.

Moncada, R. and Yamagishi, H., 2018, Landslide Inventory Educational Methodology Derived from Experiences in Latin America Landslide Dynamics: ISDR-ICL Landslide Interactive Teaching Tools, Volume 1: Fundamentals, Mapping and Monitoring, 95−111.

岡　孝雄，サハリン島スミルヌイフ（気屯）西方丘陵の上部新生界．総合地質，1，46−70.

嵯峨山　積，北海道東部湧洞沼北東方のチョウブシ層の地質年代．総合地質，1，1−6.

嵯峨山 積・近藤玲介・重野聖之・横田彰宏・宮入陽介・百原　新・冨士田裕子・矢野梓水・横山祐典，2018，北海道北部猿払村の沖積層コアの珪藻分析 - 塩分指数と電気伝導度の検討 - ．地球科学，72，1−10

Yamagishi, H. and Moncada. R., 2018, Landslide Recognition and Mapping Using Aerial Photographs

and Google Earth, Landslide Dynamics: ISDR-ICL Landslide Interactive Teaching Tools, Volume 1: Fundamentals, Mapping and Monitoring, 67–82.

矢野梓水・百原　新・近藤玲介・宮入陽介・重野 聖之・紀藤典夫・井上　京・横田彰宏・嵯峨山 積・横地　穣・横山祐典・冨士田裕子，2018，大型植物化石群から復元した北海道北部猿払川湿原の発達過程．植物史研究，27，17–30.

2)　学術論文など（査読無）

岡村　聡・稲葉　充・新城竜一，2018，北部フォッサマグナ周辺のマントル物質の改変–起源マントルとスラブ溶融成分変化–．月刊地球，40，225–233.

平井康裕・吉田尊智・岡村　聡・田村芳彦・坂本泉・新城竜一，2018，伊豆弧の背弧リフト形成に伴うスラブ表面温度の上昇．月刊地球，40，280–287.

3)　学術書籍，一般書籍・雑誌など

前田仁一郎，2018，たまには地学のお話しを：身近な地質の楽しみ方と私たちの地球観の移り変わり．労働文化，270，12–18.

宮下純夫，2018，第 11～12 章（58-69p.）分担．松尾昌樹（編），オマーンを知るための 55 章，明石書店，269p.

Sassa, K., Guzzetti, F., Yamagishi, Y., Arbanas, Z., Casagli, N., McSaveney, M. and Dang, K., 2018, Landslide Dynamics: ISDR-ICL Landslide Interactive Teaching Tools: volume 1: Fundamentals, Mapping and Monitoring, Springer 604p.

山岸宏光（編著），2018，防災と環境のための GIS．古今書院, 150p.

4)　学術講演・学会発表（口頭・ポスター）など

相澤正隆・稲葉　充・岡村　聡・新城竜一，2018，下北半島泊層火山岩類ボーリングコアの岩石学的検討．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨(札幌)，190．*

相澤正隆・新城竜一・岡村　聡・藤林紀枝・高橋敏郎・米山団体研究グループ，2018，北部フォッサマグナ北東部，米山層火山岩類と捕獲岩・角閃石巨晶の Sr 同位体組成．地学団体研究会市原総会.

相澤正隆・新城竜一・岡村 聡・高橋俊郎・藤林紀枝・米山団体研究グループ，2018，北部フォッサマグナ米山層火山岩類のマグマプロセス - 希土類元素組成からの制約 - ．日本火山学会 2018 年度秋季大会（秋田）.

相澤正隆・新城竜一・岡村　聡・高橋敏郎・米山団体研究グループ，2018，米山層火山岩類の Sr, Nd, Hf 同位体組成．日本地球化学会第 65 回年会（琉球大）.

千葉恵美・八束　翔・岡村　聡・佐々木悟・堀川滋雄，2018，北海道，札幌市南区のシールドトンネル掘削で出現した安山岩の岩石学的特徴とその起源．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨（札幌），70．**

加藤孝幸・国分英彦，2017，北海道における地熱開発のターゲットとしてのフラクチャー．日本地熱学会平成 29 年度学術講演会講演要旨集（函館），24.

前田仁一郎・石川暁登, 2018, 北海道，日高変成帯下部の千呂露変成苦鉄質岩脈に観察される局所的脱水プロセスによるグラニュライト化作用．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨(札幌)，52．*

松田義章，2018，北海道における地質学の濫觴と初期の発展．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨(札幌)，153.

松田義章，2018，アイヌ語地名と北海道の地質調査．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨(札幌)，17.

宮坂省吾・坂下哲哉・岡村　聡，2018，発寒川扇状地 - 地すべりによる河川争奪 - ．日本地質学会北海道支部平成30年度例会講演要旨集（札幌），3−4.

宮下純夫・足立佳子・金子　龍，2018，オマーンオフィオライト・ラセイル南岩体における斜長石ハルツバージャイトの出現とその成因．日本地質学会第125年学術大会講演要旨(札幌)，50．*

Nakanishi, R. and Okamura, S., 2018, A 17th-century tsunami disaster related to the subduction of the Pacific Plate: sedimentary evidence from the Pacific coast, Hokkaido, Northern Japan. New Dimensions for Natural Hazards in Asia: An AOGS-EGU Joint Conference. Tagaytay, Philippines.

中西　諒・岡村　聡・嵯峨山 積・横山祐典・宮入陽介，2018，北海道太平洋岸西部の日高地域を襲った歴史津波の検討．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨（札幌），43.

Okamura, S., Inaba, M., Igarashi, S., Aizawa, M. and Shinjo, R., 2017, Drastic shift of lava geochemistry between pre- and post- Japan Sea opening in NE Japan subduction zone: constraints on source composition and slab surface melting processes. AGU Fall Meeting, New Orleans.

岡村　聡・富岡　明・加藤孝幸・立田　理・東　豊土・堺　俊樹，2018，神居古潭帯の蛇紋岩にともなう緑泥石岩 - 縄文遺跡から出土する緑色玉類の原産地の可能性 - ．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨（札幌），188.

岡村　聡･富岡　明・立田　理・加藤孝幸・堺　俊樹，2018，北海道内の縄文遺跡から出土する玉製品の石材の物流ルートの推定．文化地質研究会第 1 回シンポジウム・研究発表会講演要旨集（東京），24.

嵯峨山 積，2018，珪藻分析における塩分指数の意義 : 北海道の沖積層を例として．日本応用地質学会北海道支部・北海道応用地質研究会平成 30 年度研究発表会講演予稿集（札幌），38，5−8.

嵯峨山 積・近藤玲介・重野聖之・横田彰宏・宮入陽介・百原　新・冨士田裕子・矢野梓水・横山祐典，2018，北海道北部猿払村の沖積層コア : 珪藻分析と塩分濃度．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨（札幌），157．*

嵯峨山 積・佐藤 明・井島行夫・岡村 聡, 2018, 札幌市東区の上部更新統～完新統ボーリングコア（SL-2）：層序と堆積環境．日本地質学会北海道支部平成 30 年度例会講演要旨集（札幌），7–8.

Suyehiro, K., Sacks, I.S., Rydelek, P.A., Deborah, D.E. and Takanami, T., 2017, Field Observations of Precursors to Large Earthquakes: Interpreting and Verifying Their Causes. 2017 AGU Fall Meeting, New Orleans.

高波鐵夫・有吉雄哉・斎藤正也・三浦哲・内田直希・出町知嗣・伊藤喜宏，2017，金華山における 2011 年東北地方太平洋沖地震前の体積ひずみの挙動について．日本地震学会 2017 年度秋季大会（鹿児島）．

高清水康博・岡村　聡・重野聖之・井島行夫，2018，勇払平野の古津波．日本地質学会第 125 年学術大会講演要旨（札幌），43.

Yoshida, M., Arita, K., Sakai, T., Paudel, M.R. and Upreti, B.N., 2018, Traversing the Himalayan Orogen -Report of the 7th Student Himalayan Exercise Tour in March 2018-. Poster presentation at 15th International Symposium on Gondwana to Asia, 2018 Annual Convention of IAGR, Xian, China.

＊ 北海道胆振東部地震により日本地質学会第 125 年学術大会での発表が中止になったもので，講演要旨は学術大会講演要旨に掲載されている．

＊＊ 北海道胆振東部地震により日本地質学会第 125 年学術大会での発表が中止の後，12 月の筑波特別大会で講演したもので，講演要旨は学術大会講演要旨に掲載されている．

5)　一般講演

在田一則，2017，ヒマラヤ山脈の成り立ち．北海道高山植物保護ネット 2017 年度市民フォーラム，北海道大学地球環境科学研究院，2017 年 11 月 18 日．

川村信人，2018，“岩清水古陸”–エゾ海盆中の前弧リッジ．北海道総合地質学研究センター第 9 回研究セミナー，2018 年 7 月 21 日．

前田仁一郎, 2018, たまには地学のお話しを～身近な地質の楽しみ方と私たちの地球観の移り変わり．第 9 回労文協リレー講座，一般社団法人北海道労働文化協会主催，北海道自治労会館，2018 年 2 月 21 日．

松田義章, 2017，地学教育の課題とその改善．北海道総合地質学研究センター第 6 回研究セミナー，2017 年 10 月 1 日．

松田義章，2018，高等学校における地学教育の問題点とその改善へ向けての提言．平成 29 年度北海道高等学校教育研究会･理科部会（地学分科会），2018 年 1 月 11 日．

松田義章，2018，北海道における地質学の調査･研究の事始め～北海道命名 150 年によせて～．北海道大学総合博物館「地質の日」展示関連･市民土曜セミナー･道民カレッジ連携講座指定，2018 年 5 月 26 日．

松田義章，2018，松浦武四郎の見た忍路の地質．小樽市総合博物館企画展ギャラリートーク，2018 年 8 月 19 日．

松田義章，2018，小樽の地層と石造建造物の石材．小樽市観光ガイドクラブ会員研修･講演会，2018 年 9 月 18 日．

宮坂省吾，2017，札幌の失われた川を歩く．北海道総合地質学研究センター第 1 回公開講座，平成 29 年度後期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2017 年 10 月 13 日．

岡村　聡，2018，地質学から読み取る自然災害 - 地すべり災害と津波災害の例 - ．現場技術者継続学習講習会，釧路，2018 年 3 月 23 日．

関根達夫，2017，ハイパーピクナル流．最終間氷期勉強会例会，2017 年 12 月 9 日．

関根達夫, 2018，幻の湖「古藤野湖」．北海道総合地質学研究センター第 8 回研究セミナー，2018 年 3 月 3 日．

関根達夫，2018，古藤野湖について. (株)シン技術コンサル社内セミナー，2018 年 4 月 13 日．

関根達夫，2018，防災セミナー「昭和 56 災害を語り継ぐ」．藤野十五島町内会・一五会，2018 年 8 月 16 日．

関根達夫，2018，防災訓練講習「56 災害を語り継ぐ」．十五島町内会，2018 年 9 月 11 日．

山岸宏光, 2018，水中火山のはなしーNHK ブラタモリ室蘭 (2017 年 11 月 25 日放映) に関連してー．北海道総合地質学研究センター第 7 回研究セミナー，2018 月 2 月 3 日．

山岸宏光, 2018, なぜ日本列島には自然災害が多いか. 北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(その 1)，平成 30 年度前期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2018 年 5 月 19 日．

山岸宏光，2018，地震火山列島日本．北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(その 2)，平成 30 年度前期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2018 年 6 月 6 日．

山岸宏光，2018，土砂災害（地すべり・崩壊・土石流）と河川氾濫．北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(その 3)，平成 30 年度前期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2018 年 7 月 14 日．

山岸宏光，2018，北海道の災害は本州とどう違うか．北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(その 4)，平成 30 年度前期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2018 年 8 月 18 日．

山岸宏光，2018，防災情報とはどんなもの．北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」(その 5)，平成 30 年度前期道民カレッジ連携講座指定，かでる 2・7，2018 年 9 月 15 日．

6)　巡検・見学会 講師・リーダーなど

松田義章，2018，高速道苫小牧インター工事現場における地元小学生対象の地層(火山灰層)見学会，2018年7月24日．

松田義章，2018，小樽の地形･地質と歴史的建造物の石材．北海道教育地図研究会･小樽市教育地図研究会フィールドワーク（講師），2018年7月30日．

松田義章･仁科健二･松枝大治･竹内勝治，2018，小樽の地質と石材．小樽軟石研究会･地質巡検（講師），2018年9月8日．

宮坂省吾，2017，札幌の失われた川を歩く．北海道総合地質学研究センター第1回公開講座，平成29年度後期道民カレッジ連携講座指定，札幌市内（北大正門から北大植物園），2017年10月14日．

宮坂省吾，2018，地すべり地形見学．北海道総合地質学研究センター第2回公開講座（その6），平成30年度前期道民カレッジ連携講座指定，札幌市手稲区内．2018年9月29日．

宮下純夫，2017，NHK BS プレミアム ，驚き！地球！グレートネイチャー「アラビア“奇跡”の大地創造～オマーン」. 2017 年放映，番組作成協力．

宮下純夫，2017，NHK BS プレミアム ，体感！グレートネイチャー「黄金の大地～オマーン」．2017 年放映，番組作成協力．

岡 孝雄･関根達夫，2017，岩内平野地質見学会．最終間氷期勉強会，案内書作成・案内者，2017年10月．

岡 孝雄･横山　光･関根達夫，2018，壮瞥地質見学会．最終間氷期勉強会，案内書作成・現地案内，2018年8月．

関根達夫，2018，さっぽろ地形地質巡検現地案内．北海道地理空間フォーラム in 札幌，2018年7月．

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究センター
2017年度決算

2017年10月1日～2018年9月30日（単位：円）

収入

Ⅰ. 経常収益

科目	予算	決算	差額	備考
1. 受取会費				
正会員受取会費	84,000	93,000	△ 9,000	6,000円×15名、3,000円×1名
一般会員受取会費	5,000	17,500	△ 12,500	5,000円×2名、2500円×3名
賛助会員受取会費	10,000	10,000	0	10,000円×1名
院生・学生会員受取会費	0	0	0	1 名の院生・学生会員の会費は前々年度に受取済み
受取会費合計	99,000	120,500	△ 21,500	経常収益合計の 5.60%
2. 受取寄付金				
受取寄付金	12,000	46,500	△ 34,500	内訳別紙, 経常収益合計の 2.16%, 受取寄付金合計の 2.65%
無償役務受入評価益	0	1,706,670	△ 1,706,670	内訳別紙, 経常収益合計の 79.27%, 受取寄付金合計の 97.28%
無償施設・機器等受入評価益	0	1,100	△ 1,100	内訳別紙
受取寄付金合計	12,000	1,754,270	△ 1,742,270	経常収益合計の 81.48%
3. 受取助成金等				
受取助成金	0	0	0	
受取補助金	0	0	0	
受取助成金等合計	0	0	0	
4. 事業収益				
電子ジャーナル「総合地質」発行	0	0	0	
研究セミナー開催	0	0	0	
道民カレッジ連携講座開催	165,000	275,250	△ 110,250	第1回公開講座 19,950円, 第2回公開講座 255,300円 (公開講座決算中の無償役務等収入は 2. 受取寄付金に計上)
事業収益合計	165,000	275,250	△ 110,250	経常収益合計の 12.78%
5. その他収益				
受取利息	5	4	1	預金利息
雑収益	0	2,900	△ 2,900	懇親会残金 (2 回:1,300円), 書籍頒布 (1,500円), 第2回公開講座残余 (100円)
その他収益合計	5	2,904	△ 2,899	経常収益合計の 0.13%
経常収益合計	276,005	2,152,924	△ 1,876,919	

支出

Ⅱ. 経常費用

科目	予算	決算	差額	備考
1. 事業費				
(1) 人件費				
給与	0	0	0	計上せず
謝金	150,000	80,000	70,000	道民カレッジ連携講座 (第1回・第2回公開講座) 講師謝金, 10,000円×2回 + 10,000円×6回
無償役務評価費用	0	491,670	△ 491,670	内訳別紙
人件費合計	150,000	571,670	△ 421,670	
(2) その他経費				
会場費	36,000	36,740	△ 740	道民カレッジ連携講座 (第1回・第2回・第3回公開講座) 会場 7 回, 研究セミナー会場 3回
旅費・交通費	20,000	0	20,000	道民カレッジ連携講座講師旅費など
広報・宣伝費	0	0	0	
通信費	0	140	△ 140	切手代
印刷・製本費	20,000	47,814	△ 27,814	道民カレッジ連携講座 (公開講座) チラシ印刷 18,940円, 同資料印刷 28,874円
事務用品費	0	1,080	△ 1,080	レターパック3枚
消耗品費	0	8,899	△ 8,899	プリンターインク代
支払等手数料	0	1,296	△ 1,296	印刷代金送金など 216円×6
事業雑経費	20,000	56,205	△ 36,205	公開講座傷害保険 2,500円, 公開講座植物園入園料 6,660円, マイク 2,900円, 車両調達 44,145円
事業予備費	50,000	0	50,000	
無償施設・機器等受入評価費用	0	1,100	△ 1,100	内訳別紙
その他経費合計	146,000	153,274	△ 7,274	
事業費合計	296,000	724,944	△ 428,944	経常費用合計の 34.33%
2. 管理費				
(1) 人件費				
役員報酬	0	0	0	計上せず
給与	0	0	0	計上せず
謝金	20,000	0	20,000	事務作業補助, 会計作業補助, ホーム頁更新作業補助など
無償役務評価費用	0	1,215,000	△ 1,215,000	内訳別紙
人件費合計	20,000	1,215,000	△ 1,195,000	
(2) その他経費				
会議費	6,000	6,446	△ 446	総会会場 (2017/10/1 , 2018/10/13) 4,246円 + 2,200円
旅費・交通費	5,000	0	5,000	近距離移動経費など
広報・宣伝費	20,000	0	20,000	パンフレット作成, 名刺作成など
通信費	20,000	17,427	2,573	サーバーレンタル更新 (2017/11/1から 1年) 12,960円, ドメイン更新 (2018/6/1から 1年) 3,067円, 切手 1,400円
印刷・製本費	0	0	0	

(科目)	(予算)	(決算)	(差額)	(備考)
事務用品費	10,000	43,830	△ 33,830	紙, プリンタ用インク・トナー, 文具など
消耗品費	40,000	104,205	△ 64,205	液晶プロジェクタ (2台), 9,693円 + 57,854円, プリンター 26,550円, ハンドメガホン, 3,099円, 乾電池 639円など
支払等手数料	1,000	0	1,000	
管理雑経費	1,000	0	1,000	
管理予備費	50,000	0	50,000	
無償施設・機器等受入評価費用	0	0	0	
その他経費合計	153,000	171,908	△ 18,908	
管理費合計	173,000	1,386,908	△ 1,213,908	経常費用合計の 65.67%
経常費用合計	469,000	2,111,852	△ 1,642,852	事業費合計 + 管理費合計

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常増減額	△ 192,995	41,072	△ 234,067	経常収益合計 - 経常費用合計〈無償役務等の総額 1,707,770円が有償であったすると 1,666,698 円の当期赤字〉

III. 経常外収益

科目	予算	決算	差額	備考
経常外収益	0	0	0	
経常外収益合計	0	0	0	

IV. 経常外費用

科目	予算	決算	差額	備考
経常外費用	0	0	0	
経常外費用合計	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
当期経常外増減額	0	0	0	

科目	予算	決算	差額	備考
税引前当期正味財産増減額	△ 192,995	41,072	△ 234,067	
法人税	0	0	0	課税なし
法人道民税均等割	0	0	0	免除 (20,000円)
法人市民税均等割	0	0	0	免除 (50,000円)
源泉所得税	0	8,168	△ 8,168	道民カレッジ (第1回・第2回公開講座) 講師謝金に関わる源泉所得税 1,021円×8
前期繰越正味財産額	447,019	447,019	0	
次期繰越正味財産額	254,024	479,923	△ 225,899	今年度実繰越 41,072 - 8,168 = 32,904円

Ⅴ．無償役務など，寄付金および賛助会費受入など

無償役務（管理費区分）	
提供者	金額（円）
前田仁一郎	923,400
嵯峨山 積	213,840
岡 孝雄	25,920
関根達夫	25,920
石崎俊一	25,920
合計	1,215,000

無償施設・機器等（事業費区分）	
提供者	金額（円）
関根達夫	1,100
合計	1,100

無償役務受入評価益 計（円）	1,706,670
無償施設・機器等受入評価益 計（円）	1,100
合計	1,707,770

無償役務（事業費区分）	
提供者	金額（円）
在田一則	6,480
石崎俊一	4,050
岡 孝雄	2,430
匿名（会員外）	3,240
川村信人	3,240
君波和雄	132,030
嵯峨山 積	62,370
関根達夫	66,420
高波鐵夫	6,480
中川 充	6,480
中西 諒	6,480
前田仁一郎	144,180
松田義章	27,540
宮坂省吾	3,240
宮下純夫	6,480
森藤 勉	3,240
山崎芳樹	7,290
合計	491,670

受取寄付金	
寄付金提供者	金額（円）
山岸宏光	24,500
前田仁一郎	10,000
岡 孝雄	10,000
関根達夫	2,000
合計	46,500

無償役務等受入評価益および受取寄付金の計（円）
1,754,270

賛助会費	
氏名	会費（円）
吉岡正俊	10,000
合計	10,000

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターは以上の皆さまの貢献に感謝いたします.

VI. 後援，助成金受入など

1) 後援など

北海道教育委員会「道民カレッジ連携講座」指定

北海道総合地質学研究センター第 1 回公開講座「札幌の失われた川を歩く」，2017 年 10 月 13 日，2017 年 10 月 14 日.

北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」，その 1: 2018 年 5 月 19 日，その 2: 2018 年 6 月 6 日，その 3: 2018 年 7 月 14 日，その 4: 2018 年 8 月 18 日，その 5: 2018 年 9 月 15 日，その 6: 2018 年 9 月 29 日.

一般社団法人北海道地質調査業協会 後援

北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」，その 1: 2018 年 5 月 19 日，その 2: 2018 年 6 月 6 日，その 3: 2018 年 7 月 14 日，その 4: 2018 年 8 月 18 日，その 5: 2018 年 9 月 15 日，その 6: 2018 年 9 月 29 日.

札幌市 後援

北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」，その 4: 2018 年 8 月 18 日，その 5: 2018 年 9 月 15 日，その 6: 2018 年 9 月 29 日.

札幌市教育委員会 後援

北海道総合地質学研究センター第 2 回公開講座「地形・地質から北海道の自然災害を考える」，その 4: 2018 年 8 月 18 日，その 5: 2018 年 9 月 15 日，その 6: 2018 年 9 月 29 日.

2) 助成金などの受入

なし

特定非営利活動法人北海道総合地質学研究センターは以上の諸機関のご協力・ご援助に感謝いたします.